

AGSurgでは、掲載論文のうち特にクオリティーの高い論文に対して、その功績を称えとともにジャーナルへの貢献に対する謝意と敬意を表すべく2つのアワードを設置しています。

1. Best Article Award [Gold/Silver/Bronze] : Original Article対象
2. State-of-the-Art Review : Review Article対象

2023年のアワードは、2020～2021年発行のVolume 4およびVolume 5に掲載した論文を対象とし、厳正なる審査のうえ受賞論文を選出いたしました。今後も年次でアワードを実施してまいります。

2023受賞論文

Best Article Award 2023



[Frailty is an independent risk factor for recurrence and mortality following curative resection of stage I-III colorectal cancer](#)

Kosuke Mima, Nobutomo Miyanari, Atsushi Morito, Shinsei Yumoto, Takashi Matsumoto, Keisuke Kosumi, Mitsuhiro Inoue, Takao Mizumoto, Tatsuo Kubota, Hideo Baba

コメント：美馬 浩介 先生



この度はAGSurg Best Article Award 2023 -Gold-という大変名誉ある賞を頂き誠にありがとうございました。審査頂いた先生方に深く御礼申し上げます。
本論文は国立病院機構熊本医療センターにおける大腸癌切除症例729例を解析し、35%にあたる253例が術前にフレイルを有しており、フレイルを有する大腸癌患者は予後不良であることを明らかにした論文です。わが国において高齢者の消化器癌手術症例が増加しており、実地臨床においてフレイルを有する大腸癌患者の特徴を明らかにしたことをご評価頂けたものと考えております。
本研究の遂行に際してご指導頂きました熊本大学大学院消化器外科学の馬場秀夫教授、国立病院機構熊本医療センター外科の先生方に改めて感謝を申し上げます。

Best Article Award 2023



[Osteosarcopenia is a potential predictor for the prognosis of patients who underwent hepatic resection for colorectal liver metastases](#)

Kenei Furukawa, Koichiro Haruki, Tomohiko Taniyai, Ryoga Hamura, Yoshihiro Shirai, Jungo Yasuda, Hironori Shiozaki, Shinji Onda, Takeshi Gocho, Toru Ikegami

コメント：古川 賢英 先生



この度は、AGSurg Best Article Award 2023 -Silver-に選出して頂きまして、誠に光栄と存じます。本研究は、大腸癌肝転移に対して肝切除を行った118例を対象に術前に骨格筋の減少を認めるサルコペニアと骨塩量の減少を認めるオステオペニアが併存するオステオサルコペニアが最も術後予後因子として有用であることを証明しました。本研究で、サルコペニアだけでなくオステオペニアも患者因子として重要であることを示せたと思います。このような名誉ある賞を受賞できたことを大変嬉しく感じますし、選考委員の先生方、論文指導をして頂いた池上徹先生に心から感謝致します。引き続き、AGSurgに掲載して頂けるような質の高い研究、論文作成を目指して精進して参りますので今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。

Best Article Award 2023



[Long-term results of a randomized controlled trial comparing neoadjuvant Adriamycin, cisplatin, and 5-fluorouracil vs docetaxel, cisplatin, and 5-fluorouracil followed by surgery for esophageal cancer \(OGSG1003\)](#)

Keihiro Sugimura, Makoto Yamasaki, Takushi Yasuda, Masahiko Yano, Motohiro Hirao, Kazumasa Fujitani, Yutaka Kimura, Hiroshi Miyata, Masaaki Motoori, Atsushi Takeno, Osamu Shiraishi, Tomoki Makino, Takayuki Kii, Koji Tanaka, Taro Satoh, Masaki Mori, Yuichiro Doki

コメント：杉村 啓二郎 先生



この度はAGSurg Best Article Award 2023 -Bronze-という栄誉ある賞をいただきまして誠に感謝申し上げます。本論文は、大阪大学とその関連施設10施設にて、2011年から2013年に、切除可能進行食道癌の方を対象とした術前化学療法ACFに対するDCFの優越性を探索検討するランダム化比較試験に関する論文です。結果、術前DCF療法は、再発、生存両面において有意に優れているという結果でした。本試験は、大阪大学およびその関連施設の先生方が一丸となって、臨床試験を遂行しpositiveな結果を出すことができた素晴らしい試験と考えております。この栄誉ある賞はこのグループ全体に対していただいたものと考えております。この場をお借りしまして重ねて御礼と感謝を申し上げます。ありがとうございました。

State-of-the-art Review 2023



[Challenges in improving the minimal invasiveness of the surgical treatment for gastric cancer using robotic technology](#)

Kenji Kikuchi, Koichi Suda, Susumu Shibasaki, Tsuyoshi Tanaka, Ichiro Uyama

コメント：菊地 健司 先生



この度は名誉あるAGSurg State-of-the-Art Review 2023に選出していただき、大変光栄に存じます。選考委員の先生方には厚く御礼申し上げます。本論文は、ロボット支援手術の本邦への導入から安全な普及のための取り組みについて、胃外科領域を中心に報告しています。2009年の個人輸入から2018年の保険収載までの過程をまとめてみると、新しい術式を安全に開発・普及させるためには多くの人の努力と配慮が必要であったことを認識させられました。本論文がロールモデルとして今後の新しい術式開発の助けになれば幸いです。最後に、本論文の執筆に際して共著の先生方の多大な協力があつたことを申し添えたいと思います。この度は誠にありがとうございました。